



国際ロータリー
第2620地区

御殿場 ロータリー クラブ 週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.jp/>

第2803回 例会プログラム

- 例 会 場／東山荘記念館
- 開 会 点 鐘／18:00
- ロータリーソング／四つのテスト
- 内 容／観月会 クラブ運営委員会



会 員 慶 事

- 会員誕生日／10月14日 豊山 篤君
- 夫人誕生日／10月13日 勝又敏雄君 ご夫人 美津代様
- 結婚記念日／10月11日 永木栄太君 沙織様 ご夫妻
- 皆 出 席／9月21日 稲葉博之君(ロータリー歴41年)

会 長 挨 拶

豊 山 篤



9月7日(日)に地区のDEIセミナーが開催されオンラインにて参加いたしました。

本年度の私の目標にも掲げました多様性を含め

1. 多様性 (Diversity) の力

さまざまな視点・経験・スキル。

2. 公平性 (Equity) の安心感

同じ条件を与えるだけでなく、それぞれが参加しやすい環境を整えることを意味する。

3. 包括性 (Inclusion) の温かさ

皆が尊重され、歓迎され、仲間として温かく迎え入れられる。

これら3項目を推進していこうとの内容です。

多様性といっても誰でも良いということではなく、ロータリーとしての厳格な基準を設けた上でのことであり、また、公平と平等は違います。

平等：すべての人に同じもの、同じ条件、同じ機会を与えること。

公平：一人ひとりの違いや状況に合わせて、公正な結果が得られるように条件や支援を調整すること。

たとえば、

平等：3人に同じ大きさの踏み台 → 背の低い人はまだ柵の外が見えない。

公平：3人にそれぞれの身長に合わせた踏み台 → みんなが外を見られる。

急がず慌てず“継続は力なり”ですが、しかしここに来て、ドナルド・トランプ アメリカ合衆国大統領によるDEIを否定する政策が発動され、様々な面でDEIを推進する活動に制限が生じております。

以下はその政策の概要及び影響です。

トランプ大統領の立場・政策動向

1. DEIプログラムが「特定の人々を優遇する」ことにより、逆に他の人たち（主に白人など）が不利益を被るという“逆差別”的な見方がある。
2. 個々の能力・成績を重視し、人種や性別、性的指向などは評価基準とすべきでない、という主張。

批判・反対側の視点・懸念

・歴史的に不利な立場に置かれた人々の権利・機会が後退する可能性

多様な背景を持つ人々が教育・雇用・公共政策で不利を被ってきたという現実があり、それを是正する仕組みが縮小することで、格差が広がる恐れあり。

・表現の自由や行政の監督・言論の自由の問題

DEIを支持する意見・講座・活動を「政府が好まない見解」として制限・抑制する動き。

DEI廃止・制限の具体的影響例

・連邦機関によるDEI関連の助成金・研修契約のキャンセル。
・“Chief Diversity Officer” (DEI担当責) ポジションの解消。

・学校・大学や軍・軍学校 (West Point 等) における少数派・女性・LGBTQ+の学生向けクラブ等の活動制限。

・政府のウェブサイト上でのDEI表示内容の削除。

皆さんはどのようにお考えになりますでしょうか。



会長挨拶はこちら

9/4のメーキャップ

8月22日	クラブ運営委員会	池上 司君
8月22日	クラブ運営委員会	梶 喜朗君
8月22日	クラブ運営委員会	込山正一郎君
8月22日	クラブ運営委員会	大胡田明寿君
8月22日	クラブ運営委員会	田代明人君
9月11日	北海道Eクラブ	高橋隆造君
9月16日	北海道Eクラブ	山内 剛君



よいことのために
手を取りあおう

次 回
10月16日の
例 会

★東山荘講堂 ★12:30
★ガバナー公式訪問
会長、幹事、SAA+国際奉仕委員会



ガバナー補佐訪問

国際ロータリー第2620地区
静岡第2グループ
2025～26年度 ガバナー補佐

.....
芹澤 豊 様 (裾野RC)

皆さんこんにちは、本年度静岡第2グループのガバナー補佐を務めます裾野ロータリークラブ所属の芹澤 豊でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は貴重なお時間を頂きありがとうございます。次の3点について話させていただきます。

1. 本年度スタート直前のR I 会長エレクトの交代の件
2. 本年度の会長メッセージについて
3. ガバナー補佐としての活動について

1番目のR I 会長エレクトの交代の件についてご説明いたします。6月8日にマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクト（ブラジル サンパウロのサントアンドレ・ロータリークラブ会員）は、ステファニー・アーチック会長に書面にて、辞任を表明し、受理されました。辞任の連絡を受けた稲葉ガバナーエレクトは6月10日に関係各位に対応方法を発表しました。その内容は、「2025～26年度の会長メッセージや方向性に変更はないと思います。いずれ新しいR I 会長が発表されるに致しませんが、次年度のクラブ計画書にデ・カマルゴ氏の会長メッセージが掲載されていてもかまいません。また、自身の次年度に向けた挨拶原稿の変更は予定していません。」と云うものです。

その後、6月16日にガバナーエレクト事務所より、新しいR I 会長エレクトとしてフランチェスコ・アレツォ氏（イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属、矯正歯科医）が選任された旨連絡がありました。アレツォ氏は2年前に会長エレクトとして検討されたメンバーです。

次に会長メッセージについてご説明いたします。本年度の会長メッセージは“UNITE FOR GOOD”（よいことのために手を取りあおう）です。2月に開催された米国オーランドでの国際協議会で会長メッセージとして承認されました。

稲葉ガバナーエレクトは従来の『会長テーマに代わり、ロータリーの行動計画の【4つの優先事項（ビジョン声明）】を普遍的なテーマとして指針に捉える』と云うことと理解しました。尚、伊東で開催された「PELS」ではこのメッセージは理事会が決めた内容と云う説明を受けました。

会長メッセージの中心は、「革新」「継続性」「パートナーシップ」の三つの柱を基盤にした会員増強の道筋です。ロータリーの最大の財産は何と云っても会員です。クラブの活性化には会員が不可欠です。三本柱の1番目「革新」の例として高齢者のロータリーへの参加やサテライトクラブの設立が会員増強に繋がったことを挙げられていました。「継続性」は単年度主義に有効な事業の継続を加味することです。手法として3-Year Rolling Goalsの策定です。「パートナーシップ」については、ポリオ撲滅活動の歴史（ゲイツ財団・WHO・UNICEF）を活かして会員増強につなげよう云うことです。

そして「よいことのために手を取りあおう」と云うことは、ロータリーを取り巻く仲間（家族・親族・友人・知人等）や他集団と今まで以上に連携を取り、ともに行動をすれば、世界は変わるでしょう。稲葉ガバナーの掲げる「親睦からの笑顔で奉仕」「ロータリアンからはじめよう」を合い言葉に進めましょう。

3番目、ガバナー補佐としての活動についてご説明いたします。昨年3月の伊東での「第1回ガバナー補佐会議」をスタートに「次期地区ミーティング」「PELS」他多くのZoomでの会合に参加。ガバナー補佐の実務としては、「クラブ訪問」「会長幹事会の招集」「IMの開催」の3点と考えます。クラブ訪問は7月からスタートして各クラブを訪問いたします。会長幹事会は、年間5回を計画し、前期中に3回開催しました。第2グループの合同奉仕事業を議題の中心として、討議の結果、昨年に続き「地域により添う食料支援」を10月第4週中心に実施いたします。第4回は9月5日（金）に沼津で開催します。そしてIMですが来年2月14日（土）御殿場高原ホテルにて開催いたします。たくさんのご参加をお待ちしております。

最後に地区行事として、地区大会が12月6日（土）・7日（日）に伊東市・伊豆市で、来年6月13～17日には台湾・台北市で台北国際大会が開かれます。ぜひご参加ください。

9/18の 出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
54名	49名	41名	83.67%	100%

欠席者 (8名)

林 泰博君 井上 元君 梶 喜朗君
神谷高義君 柏原大地君 長田富夫君
高橋隆造君 臼井良太郎

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。



司 会
池上 司君



出席報告
嶋田康一君



ソングリーダー
大胡田明寿君



会員誕生日
渡辺修司君 林 則夫君

9/18の スマイル

ガバナー補佐芹澤
様、残り9か月半
よろしくお願いいたします。
勝又 洋君

Rotary 国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長○豊 山 篤
幹 事○勝 又 厚
会報委員長○勝 又 淳